

8-3-3 美しい国づくり専門委員会

1. 主な活動記録

(1) 活動目標

過年度までは、JIA（日本建築家協会）との協働宣言である『「美しい国づくり」をみんなの力で』（平成16年記者発表）と宣言に対する具体的な行動計画（平成18年記者発表）を実践する活動を実施してきた。今年度はこの活動については一定の効果を得たと判断し、以下の2つの方針で新たな活動を開始する事とした。

- 土木分野と建築分野の協働について、従来の景観やデザインの領域だけでなく、企画・調査・設計・監理全般を対象に多様な社会環境に応じた協働の在り方を探求する。
- 過年度より活動している「美しい国づくり」の実現に対して、我々建設コンサルタントが取り組んできた活動・成果について記録に残し、情報発信を行う。

上記の新しい活動をふまえ、委員会名称の変更も踏まえ議論を行った。

(2) 委員会の開催等

- ・委員会開催（勉強会）：8回（4月～2月）
- ・JCCA/JIA 合同WGでの議論（勉強会）：10回（4月～2月）
- ・JCCA×JIA 協働シンポジウム開催：1回（10月）

(3) 主な内容

- a) JCCA×JIA 協働シンポジウムのテーマ、協働のあり方について議論し、登壇者などの調整と確定を行う。
- b) JCCA/JIA 合同WSでの議論の深度化
- c) デザイン紀行の執筆準備（現地調査含む）。
- d) 年1回の協働シンポジウムの開催と記録としての小冊子の刊行準備。

2. 実績報告

- (1) 委員会：平成31年4月～令和2年2月 8回開催し、過年度の活動等を踏まえ、今年度の活動方針・意見交換や協働シンポジウムの企画準備、勉強会の企画などを行った。

(2) JCCA/JIA 合同 WS：JIA 都市まち委員会のWGに参加、(1)のシンポジウムの企画検討、協働のあり方について議論を深めた。

(3) デザイン紀行の執筆：(1)の委員会に合わせ、土木分野のデザイン事例を視察調査した結果を「デザイン紀行」として取りまとめ準備。

(4) 第13回シンポジウム：令和元年10月18日に「協働が生み出す近未来の design」をテーマとして、第13回JCCA/JIA 協働シンポジウムを行った。津軽ダムを題材に建築・土木の協働の目指すべき方向性、美しい景観を創るための今後の展望、地域のまちづくり等への様々な波及効果について議論した。登壇者は、津軽ダムプロジェクト紹介は、三浦 義昭氏（国交省岩木川ダム統合管理事務所副所長）、井上 大介氏（株式会社東京建設コンサルタント）にお願いした。シンポジウムは、コーディネーターを北原 啓司氏（弘前大学教授）、パネリストは、井上 大介氏に加え、三浦 龍児氏（西目屋村 政策推進室室長）、川村 宣元氏（川村宣元建築設計事務所）、進藤 勝人氏（株式会社八洲建築設計事務所）にご登壇頂き、会場との議論を交えながら行った。

3. その他報告事項

過年度に継続して、小冊子「誰が景観を創るのか？」【02】編集中。4回～9回のシンポジウムを纏める。

4. 次年度の活動について

JIA とのコラボレーションの窓口としての機能を先鋭化し、従来の景観やデザインの領域から、土木・建築分野を俯瞰して捉え、企画・調査・設計・監理の全般での協働を視野に入れた問題・課題について、解決策の検討や情報を発信する役割を担う活動を行う。協働シンポジウムも開催予定、「デザイン紀行」も電子媒体での情報発信を検討している。また、小冊子【02】を含め、第13回までの、協働シンポジウムの内容について刊行準備を引き続き行いたいと考えている。委員会名称については今後の活動内容を踏まえ、新たに定めて活動を継続していきたいと考えている。

（美しい国づくり専門委員会委員長 水谷 智充）